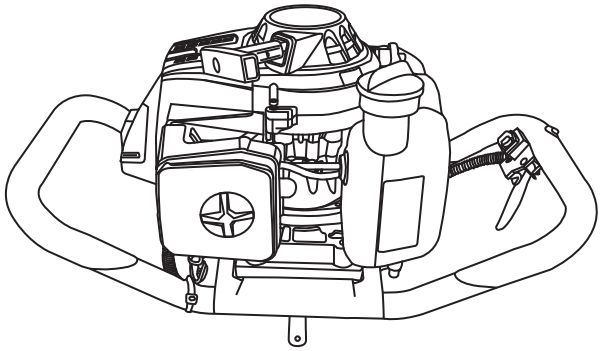
JEFCOM
ELECTRICIANS TOOLS

AOG-630S　アースオーガードリル（エンジン式）取扱説明書

この度は、アースオーガードリルをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、アースオーガードリルの概要、操作方法について説明しています。安全かつ効率よくお使いいただくために、本書をよくお読みいただき、正しくお使いくださるようお願いします。

●この取扱説明書は必ずお読みになり、常時、機械と同じ場所に保管してください。
●製品の仕様及び外観を改善のため、予告なく変更する事があります。
●掲載の図は、説明をわかりやすくするために、実際とは多少異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。



安全上の注意（必ずお守りください）

ここに書かれた注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですので必ず守ってください。

[表示区分について]　注意事項を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の内容
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[免責事項について]

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
●取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

※ 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などを意味します。　※ 物的損害とは、設備・建物・取得データ情報などへの損害を意味します。

⚠危険

●エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
●エンジン始動中や給油時、燃料タンクの付近では、タバコを吸ったり炎や火花等の火気を発生させないでください。
●燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンを始動しないでください。給油中に燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取りよく乾かしてからエンジンを始動してください。
●燃料キャップは確実に締めてください。また、エンジン始動中は絶対に燃料キャップを外さないでください。
●燃料、可燃性ガス等可燃性のある場所では使用しないでください。また、乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。爆発や火災、火傷の原因となります。
●危険を感じた際は、直ちにエンジンを停止し、本機を身体から離してください。
●静電気を除去してから給油してください。

⚠警告

●改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因となります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
●当社が供給するオーガー以外は使用しないでください。
●かくはん作業等、穴掘り作業以外には使用しないでください。
●正しい操作を知らない方、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
未成年者の単独使用は禁止です。必ず監督下で作業を行ってください。また、操作方法を熟知していない成年者でも独自の使用はご遠慮ください。
●本機を初めてご使用する場合は、実作業に入る前に周囲に危険物のない広い場所で試運転を行い、本機の操作に慣れてから実作業を行ってください。
●袖口が閉まった作業服、裾閉まりのよい長ズボンを着用してください。また、滑り止めのある安全靴や、飛散物から保護するための保護メガネ、騒音から耳を守るための耳栓やイヤーマフ等の防音保護具を着用してください。また、粉塵の多い作業では、防塵マスクを着用してください。
●始動前に各部の点検を実施してください。特にオーガーが確実に取り付けられているかを確認してください。
●電線・ガス管・水道管等が設置してある場所では十分に注意してください。電線やケーブルに触れると感電する恐れがあります。作業前に必ず作業領域の点検を行ってください。
●空き缶や石等の有無を確認し、取り除いてから作業を行ってください。また、木の根や岩のある場所での作業は行わないでください。
●エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいない事を確認してください。
●エンジンを始動する時は、スロットルレバーに手を掛けないでください。エンジン始動後、急にオーガーが回転し怪我をする恐れがあります。
●換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。また、燃料を補給した場所から、なるべく離れて始動させてください。
●スターターハンドルを引いた後、遅れてエンジンが始動する事があります。エンジンが始動するまで、しっかりと本機を押さえていてください。
●エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンや排気管などが熱くなっています。触れると火傷をする事がありますのでご注意ください。
●運転中は、排気ガスに十分注意してください。
●身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
●ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業を行ってください。
●作業中は回転している部分に顔や手足を絶対に近づけないでください。また、髪の毛や衣服、安全帯やネックレス等が巻き込まれないようにご注意ください。
●飛散物による事故を防ぐため、ご使用時は、他の人を5m以内に近づけないでください。また、足場が悪い場所での作業時は、他の作業者に危険がない事を確認してから作業を行ってください。
●夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。また、雨中や雨上がり等の濡れた場所では使用しないでください。
●足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
●穴掘作業中にオーガーの回転が止まった場合は、オーガーを穴から引き抜き、排土してください。
特に粘土質の土等の固い土で作業する場合、無理に掘り進めるとオーガーの破損や変形の原因となります。
●穴掘作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、オーガーに異常がないかを確認してください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
●作業中、本機の調子が悪かったり、異音、異常振動等に気付いた場合は、直ちにエンジンを停止させお買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●本機から離れる際は、必ずエンジンを停止してください。
●燃料タンク内に燃料を入れたまま保管・運搬しないでください。
●本機を保管・運搬する際は、安全のためにオーガーは取り外してください。

⚠注意

●本機は2サイクルエンジンです。燃料は混合燃料25：1（レギュラーガソリン：2サイクル専用オイル）を使用してください。

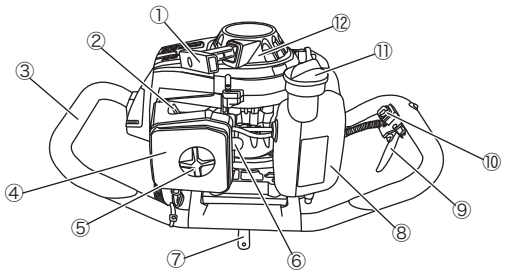
●使用時は必ず両手で左右のハンドルをしっかりと握り、両足は肩幅より少し広めに開き、体重を均等にかけて作業してください。
無理な姿勢での作業や片手持ちをすると、反動で急激に振り回される危険があります。
●本機で作業を行っている作業者に近づく際は、5m以上離れた位置から合図し、エンジンが停止した事を確認してから近づいてください。
●本機を保管する場合は、燃料を完全に抜き、泥や草等の汚れを拭き取ってください。また、火気のある場所での保管はしないでください。
●本機の作業中または一旦地面等に置く場合、逆さまに置かないでください。燃料キャップが下側にある状態の場合、燃料キャップから燃料が漏れる恐れがあります。

仕様・各部の名称・標準付属品

●仕様

総排気量	63cc
エンジンタイプ	単気筒空冷2サイクルエンジン
エンジン出力	1.8～2.2kW / 8000～8500rpm
アイドル回転数	2800～3200rpm
キャブレター	ダイヤフラム式（プライマポンプ付）
点火プラグ	付属品：LD /L8RTF適応推奨品：NGK / BPMR7A
使用燃料	混合燃料25：1 （レギュラーガソリン：2サイクル専用オイル）
タンク容量	1.2L
クラッチ形式	自動遠心式
ギア	ヘリカルギア
減速比	40:1
シャフト径	φ20mm
操作人数	1人～2人
対応オーガー	φ60/φ100/φ150/φ200/φ250/φ300mm
サイズ	520×295×350mm（全長×全幅×全高）
質量	9.2kg

●各部の名称



① スターターハンドル
② チョークレバー
③ ハンドル
④ エアーフィルターカバー
⑤ 着脱ツマミ
⑥ プライマポンプ
⑦ ドリルシャフト
⑧ 燃料タンク
⑨ スロットルレバー
⑩ ON/OFFスイッチ
⑪ 燃料キャップ
⑫ リコイルスターター

●標準付属品

・本体 ・混合タンク ・ろうと ・工具セット（ケース付）・取扱説明書
※オーガーと燃料は標準付属品には含まれておりません。

オプション（別売）

穴掘りがスムーズな専用2枚刃オーガーと、より深く掘るための延長シャフトを下記のサイズにてご用意しております。
用途に合わせてお買い求めください。

●専用2枚刃オーガー

・AOG-W60（φ60mm）
・AOG-W100（φ100mm）
・AOG-W150（φ150mm）
・AOG-W200（φ200mm）
・AOG-W250（φ250mm）
・AOG-W300（φ300mm）

●延長シャフト

・AOG-EXS600（600mm延長可）
・AOG-EXS1000（1000mm延長可）

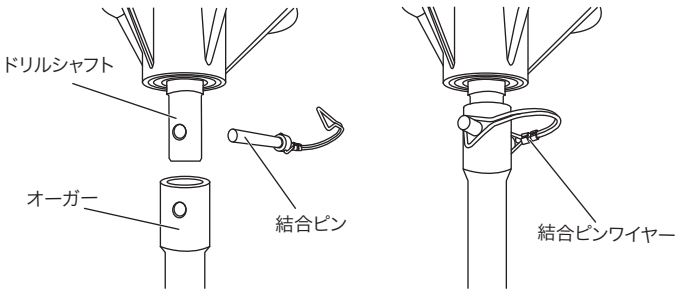
※結合ピンはオーガーにも延長シャフトにも付属しています。

オーガーの取り付け

1. ON/OFFスイッチをOFFにし、エンジンが停止している事を確認します。
2. オーガーをドリルシャフトに差し込みます。
3. ドリルシャフトの穴とオーガーの穴を合わせ結合ピンを差し込み
   右図のように結合ピンワイヤーで固定します。

⚠注意 この時、オーガーがしっかりと固定されている事を確認してください。

※オーガーは別売オプションにてお買い求めください。
※延長シャフトを取り付ける場合もオーガーの取付け方法と同様に行ってください。



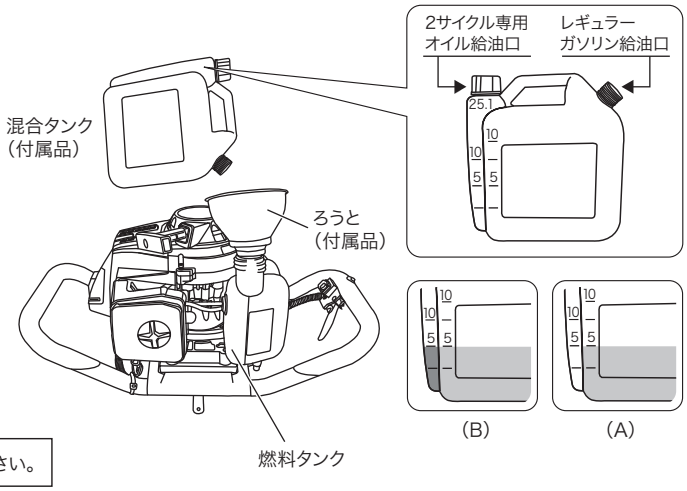
混合燃料の準備

1. 燃料は混合燃料25:1（レギュラーガソリン：2サイクル専用オイル）を
   使用してください。
2. 付属の混合タンクに、必要な燃料を入れてキャップをしっかりと締め、
   混合タンクを傾け、振ってよく混ぜて混合燃料を準備します。

例）付属の混合タンクを使って、25:1の混合比で混合燃料を作る場合
※右図参照
レギュラーガソリン給油口から5の目盛まで入れた場合（A）、同様に
2サイクル専用オイル給油口からも5の目盛まで入れてください（B）。
※その他の混合比目盛は使用しません。

3. 本体燃料タンクの燃料キャップ面を上にして燃料キャップを開け、
   付属のろうとを使用して燃料タンクに少しづつ給油してください。
4. 給油が終わりましたら燃料キャップをしっかりと閉めてください。

※弊社は燃料の販売はしておりません。必ず別途必要な燃料を準備して
ください。



⚠注意 必ず、混合燃料を給油してください。ガソリンのみの給油はしないでください。

⚠危険
- ●運転中や給油時に、喫煙等の火気を発生させないでください。
- ●エンジンが熱いうちは、絶対に給油しないでください。
- ●燃料を給油する際は必ずエンジンを停止させ、屋外の換気の
  よい場所で行ってください。
- ●燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンを始動しないでください。
  燃料がこぼれた場合は、直ちによく拭き取ってください。
- ●静電気を除去してから給油してください。

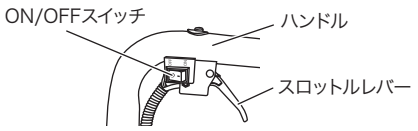
⚠警告
- ●混合燃料は必要以上に混合しないで、作業に必要な量を
  その都度準備してください。一ヶ月以上経過すると揮発したり、
  腐敗して故障する原因になります。
- ●混合燃料を樹脂製タンク内で保管しないでください。
  樹脂の成分が燃料の中に溶け出し、故障する原因になります。
  ペットボトル等は絶対に使用しないでください。
  （※付属の混合タンクは保管用タンクではありません）

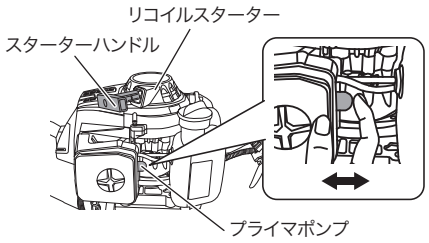
⚠注意
- ●給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ●燃料をこぼさないように注意してください。
- ●燃料タンクの口元一杯まで給油しないでください。
- ●燃料タンクにレギュラーガソリンだけを入れないでください。同様に、燃料タンクに2サイクル専用オイルだけを入れないでください。
  エンジンが焼きつき、故障する原因になります。

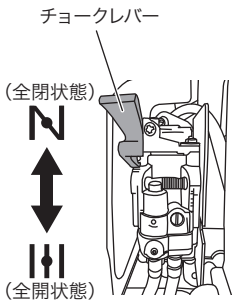
使用方法

1. ON/OFFスイッチをONにします。
2. プライマポンプを数回押してください。(ポンピング)
   ポンプ内の混合燃料が半分以上になったらポンピングを中止してください。
   ※タンク内に混合燃料がない場合はポンピング時に音が鳴ります。
3. 始発時やエンジンが冷えている場合はチョークレバーを N 側(全閉状態)
   にしてスターターハンドルを強く引いてエンジンを始動します。
4. その後、すぐにチョークレバーを ||| 側(全開状態)にしてください。
   エンジンが暖気されている場合は特にチョークレバー操作は不要です。
   チョークレバーを ||| 側(全開状態)にしてエンジンを始動してください。
5. 使用後は、スロットルレバーから手を離し、回転を停止させます。
   ON/OFFスイッチをOFFにしエンジンを止めます。
   チョークレバーは、ホコリなどの侵入を防ぐため、N 側(全閉状態)にします。

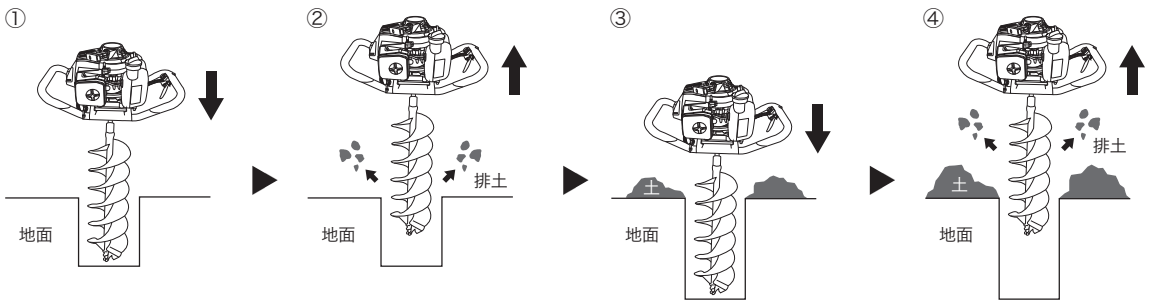
ポイント チョークレバーの操作は、気温や使用環境などにより異なります。







ポイント 深く堀る場合は、本体を上下に動かして排土をしながら堀り下げてください。



⚠警告

- ●換気の悪い場所では、エンジンを始動しないでください。また、燃料を補給した場所から、なるべく離れて始動させてください。
- ●エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいない事を確認してください。
- ●エンジンを始動する時は、スロットルレバーに手を掛けないでください。エンジン始動後、急にオーガーが回転し怪我をする恐れがあります。
- ●スターターハンドルを引いた後、遅れてエンジンが始動する事があります。エンジンが始動するまで、しっかりと本機を押さえていてください。
- ●エンジン回転中及び停止後しばらくの間は、エンジンや排気管などが熱くなっています。触れると火傷をする事がありますのでご注意ください。
- ●作業中は回転している部分に、顔や手足を絶対に近づけないでください。また、髪の毛や衣服、安全帯やネックレス等が巻き込まれないようにご注意ください。
- ●穴掘作業中にオーガーの回転が止まった場合は、オーガーを穴から引き抜き、排土してください。
  特に粘土質の土等の固い土で作業する場合、無理に掘り進めるとオーガーの破損や変形の原因となります。
- ●作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、オーガーに異常がないかを確認してください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- ●作業中、本機の調子が悪かったり、異音、異常振動等に気付いた場合は、直ちにエンジンを停止させ購入販売店に点検・修理をご依頼ください。
- ●移動時または本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。運搬時は火災防止のため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- ●本機を保管・運搬する際、安全のためにオーガーは取り外してください。

点検・メンテナンス

お買い上げ頂きましたアースオーガードリルを安全にご使用いただくために、始動前の点検と定期的なメンテナンスを実施してください。
また点検とメンテナンス時にはON/OFFスイッチをOFFにして必ずエンジンを停止し、高温部が充分冷えている事を確認してから行ってください。

●始動前の点検

・燃料の点検
燃料の量を点検し、不足している場合は補充してください。また燃料漏れがないかを確認してください。
・オーガーの点検
オーガーの刃を点検し、摩耗、変形、破損、亀裂などがない事を確認してください。ある場合は交換してください。
・結合ピンの点検
結合ピンがオーガーまたは延長シャフトに差し込まれ、結合ピンワイヤーでしっかりと固定されている事を確認してください。
・各部ネジ類の点検
各部締め付け箇所の緩みや部品の脱落がないかを点検し、緩んでいる所があれば締め直してください。

●メンテナンス

箇所	実施時期	メンテナンス項目
エアーフィルター（スポンジ）	20時間使用ごと	・スポンジが汚れ、目詰まり状態になると出力の低下やエンジン始動が困難になります。エアーフィルターカバーを外してスポンジの清掃を行い、汚れを落として目詰まりを防いでください。 ・スポンジの汚れがひどい場合はガソリンで洗い、しっかりと乾燥させてから取り付けてください。
点火プラグ	50時間使用ごと	・付属の工具でカバー、キャップ、点火プラグを外します。電極の周辺にオイルや堆積物が付着している場合は清掃してください。必要であれば適応推奨品の点火プラグに交換してください。 ・電極の間隔は必要な0.6mm～0.7mmになるように調整してください。
燃料フィルター	50時間使用ごと	・燃料フィルターが詰まると、ガソリンが上がらずエンジンの回転不調の原因となります。 ・汚れている場合は、ワイヤーフック等で燃料給油口から取り出し、ガソリンでよく洗ってください。 汚れがひどい時など、必要であれば新しい物に交換してください。
排気管	50時間使用ごと	・長時間運転しますと、排気管の排気口にカーボンが付着し出力低下の原因になりますので、時々清掃してください。
ギアボックス	50時間使用ごと	・50時間使用ごとにグリスを補充してください。ギアボックスの側面にある六角ネジを外し、そのネジ穴からグリスを注入してください。六角ネジを元の位置に取り付ける際は、ゴミや土をよく取り除いてください。

※その他の複雑な調整・メンテナンス、またはご自身でできない場合はお買い求めの販売店へご相談ください。
※異常を感じたり、予測される場合は使用を中止し、すぐにお買い求めの販売店へご相談ください。

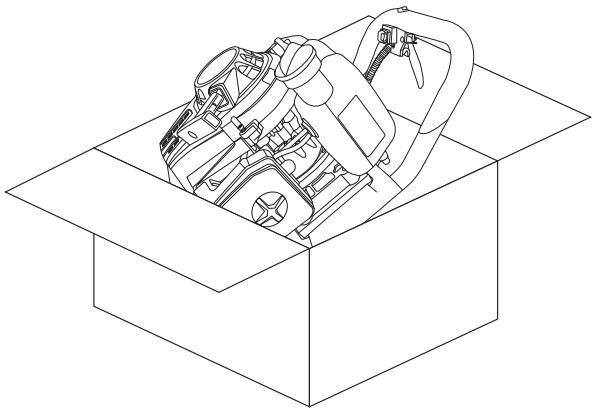
⚠警告
●安全を確保して作業を行ってください。
●作業中にエンジンを始動するような事は絶対にやめてください。また、周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
●エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンや排気管が熱くなっています。触れると火傷する事がありますので注意してください。

⚠注意
●作業には付属の工具を使用する事があります。必ず用途やサイズに合った物を使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
●メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所での保管、またはカバーなどをかぶせての保管をしてください。

保管の方法

●長時間使用しない時
使用後は、次のお手入れを行ってから保管してください。
エンジン停止後は、高温部が十分冷えている事を確認してからお手入れを行ってください。

●各部を十分に清掃してください。
●燃料タンクから燃料を抜き取ってエンジンを始動し、キャブレター内の燃料をすべて使い切り、燃料切れで停止するのを待ってからお手入れを行ってください。
●余った燃料は、冷暗所に保管し1ヶ月以内に使い切ってください。
●ON/OFFスイッチをOFFにしてください。
●点火プラグキャップと点火プラグを外し、適量の2サイクル専用オイルをプラグの穴から数滴入れてください。
●スターターハンドルを持って、リコイルスターターのロープを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。
●点火プラグを取り付けて、リコイルスターターが重くなった所（圧縮位置）で止めてください。
●点火プラグキャップは取り付けないでください。
●エアーフィルター側、スロットルレバー側を下にして保管しないでください。破損等の原因になります。
●本機を逆さま（燃料キャップが下側にある状態）にして保管しないでください。
●損傷個所がある場合は必ず修理、交換を実施してから保管してください。
●湿気やホコリが少なく乾燥した場所に保管してください。
●温度が50℃以上にならない場所に保管してください。
●子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
●燃料は屋内の火気のない、冷たい乾いた所に安全な容器に入れて保管してください。
●古くなった燃料は異臭や故障などの原因になりますので使用しないでください。



故障かなと思ったら

現象	主な原因	処置
エンジンが始動しない	燃料タンクに古い燃料が残っている（異臭など）	新しい燃料に交換する
	燃料を吸い込みすぎて、点火プラグが漏れている	1.点火プラグを外す 2.スターターハンドルを数回引いて余った燃料を出す 3.点火プラグを乾燥させ装着する 4.チョークを開きスターターハンドルを引く
	燃料パイプが折れ曲がっている。または外れている	燃料が流れやすいようにする
	ON/OFFスイッチがOFF（停止）になっている	ON（運転）位置にする
	点火プラグの汚損、または劣化、損傷	清掃または新品の適応推奨品【NGK/BPMR7A】と交換する
エンジンは始動するが調子が悪い	点火プラグの電極の間隔が広い	電極の間隔を0.6mm～0.7mmに調整する
	点火プラグの番手違い	適応推奨品【NGK/BPMR7A】に交換する
	チョークレバーが全閉状態になっている	チョークレバーを全開状態にする
	燃料フィルターのつまりや汚れ	清掃または新品と交換する
	エアーフィルター（スポンジ）の目づまりや汚れ	清掃する
	排気管の排気口カーボンづまり	清掃する
異常または振動が出る	ネジなど、その他締め付け部の緩み	チェックし増し締めする
	オーガーの摩耗、または変形、破損、亀裂	新品と交換する
	オーガーに雑草の巻き付き、または障害物に当たっている	草を取除く、または障害物を避ける

※上記の処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は使用を中止し、お買い求めの販売店へご相談ください。
※その他の複雑な調整・処置、またはご自身でできない場合はお買い求めの販売店へご相談ください。
※異常を感じたり、予測される場合は使用を中止し、すぐにお買い求めの販売店へご相談ください。

ジェフコム株式会社 〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

MADE IN CHINA　ML1AAE